

**ふる里からの
「ふくろうだより」
8月号**

令和元年 8月 5日発行

今年の指針
“光”

長崎県 大村市 鬼橋町 1416番地
TEL (0957) 27-4500
FAX (0957) 27-4501

HP検索: ティーサービスセンターふる里

“湖畔の宿ふる里”建設開始！

社会福祉法人隆明会が経営するミニ特養の建設が承認され、5月29日に指名競争入札により、大村市にある『伸栄建設様』と『岡山建設様』の共同企業体に決定しました。建築業者が決定し、私達隆明会が先づやらなければならないことは、国の期間である“福祉医療機構”に書類を提出し、書類が受理されれば、『三省設計研究所様』、『伸栄・岡山共同企業体様』との建設契約、着工となるのですが、“福祉医療機構”からの受理が、7月22日と、当初の計画より2カ月間も大きく遅れることになりました。私も5月から書類の受理がいつ決定されるか、心配でなりませんでしたが、設計建設に携わる、『三省設計研究所様』、『伸栄・岡山共同企業体様』の心配は私以上だったでしょう。2ヶ月も延びて、工人さん達を確保しておくことが困難だったことでしょう。『伸栄・岡山共同企業体』の現場責任者のお二人は、柔らかな心で私達に温かな言葉をかけて下さいました。これが、私にとりまして、何よりも有難いことでした。

7月22日に契約を交わしましたが、そこからがバタバタでした。先ず、落ち着いた気持ちで、『地鎮祭祭典』。善隣教の導師にお越しいただき、神事式で行いました。天気にも恵まれ、厳かな中で緊張感を持って執り行われました。“やります やります やります”的声が、建設に携わる者の“和”を守っていただかかのようでした。

『地鎮祭』が終わるや否や工人さんを集めていくのが現場責任者の業務でした。7月末にこの原稿を執筆していますが、“契

約をした！地鎮祭！それ！一斉にスタート！”というわけにはいってません。しかし、お二人の現場責任者の方が上手くやっていただくことでしょう。ミニ特養“湖畔の宿ふる里”は、利用される皆様方や職員のオアシスとなる大切なものです。調和を持って、柔らかく、明るい気持ちで建設を応援していくつもりです。そう！プロフェッショナルの建設集団の『三省設計研究所様』、『伸栄・岡山共同企業体様』の皆さんに対して、私が関わる皆さん（勿論、職員にも）に笑顔を注いで、元気な姿で完成まで歩んでまいります。ミニ特養“湖畔の宿ふる里”は、たくさんの厚い“愛”に支えられた建築物にしてまいります。

7月24日に長崎県の梅雨が明けました。そして、2020 東京オリンピックまで1年となりました。日本中の期待と歓びと結束が感じられるこれから的一年にミニ特養“湖畔の宿ふる里”が歴史をスタートさせるのです。

From センター長 森 隆敏

7月行事 そうめん流し

7月行事は、恒例の『そうめん流し』を16日(火)、17日(水)、18日(木)の三日間行いました。昼食の「そうめん流し」の前に皆様にはレクリエーションで楽しみながら、お腹を空かせてもらいました。まず、1日目と2日目は「すいか de アタックチャンス」というゲーム。二チームに分かれてのチーム戦で行い、一人ずつ前に出て椅子に座っての対抗戦。目の前には28本のペットボトルを並べ、ゴムで繋いだスイカボールを脚に挟んで的に向かって飛ばし、ペットボトルを倒します。倒れたペットボトルの数をチームの合計で競いました。3日目は、「夏へナイス IN !!」チームから二人ずつ出てきて、風船をうちわで扇ぎ目の前にある箱の中に風船を多く入れた方が勝ちとなるチーム戦。相手のチームに負けないよう必死に腕を振り、手首を使って上手にうちわで風船を箱の中に“IN !!”されていました。三日間ともレクリエーションは大盛り上がりでした。



レクリエーションが終わると、「そうめん流し」の始まりです！中庭を囲い、全長約32mのそうめん流しの台を優雅に流れてくるそうめん！それを、箸を上手に使いやすい上げ召し上がられました。レクリエーションの最中に男性職員が中庭でチャーハンと焼きとりを作り、出来たてを皆さんに食べて頂くことができました。いつも以上のボリュームある昼食で、これから夏に向けて、たくさん食べてスタミナをつけていただき暑い夏を乗り越えよう！と思い考えた行事でした。





中庭の様子・担当職員衣装



訪問ボランティア



7月は、3組の訪問ボランティアがありました。19日(金)が西山清吉郎様、皆さんが知っている曲を用意していただき、衣装も豪華でスターが来たような雰囲気がとてもよかったです。23日(火)は、三根小珠恵様、福岡レクリエーション協会の先生で、面白いトークと身体を使った簡単な運動で、皆さん腹の底から笑って楽しまれました。私たちもレクの経験とトークは大事と、良い勉強をさせていただきました。26日(金)は、小路口路寿会様、皆さんと一緒に踊ったり、沢山の名曲を歌っていただき、大いに盛り上りました。飛び入りの職員のフラダンスも抜群でした。利用者の皆さんが本当に楽しめている様子を伺えたことが嬉しかったです。ありがとうございました。

在宅介護支援センター ふる里

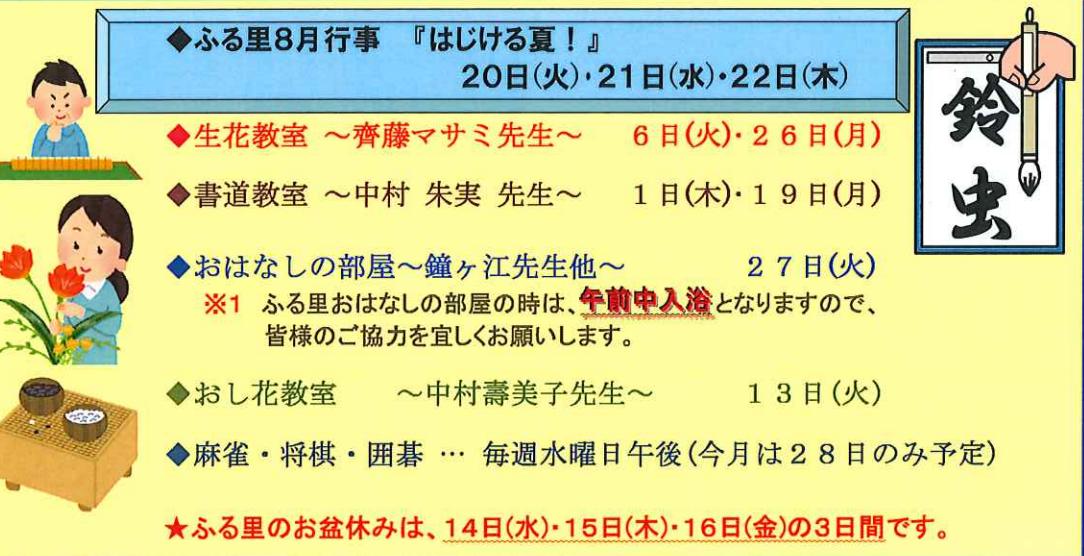
【在宅介護支援センターふる里】とは…

社会福祉法人として設立され運営している事業です。地域の身近な総合相談窓口として、福祉専門のソーシャルワーカーが安心生活のため様々な相談に応じます。また、地域の老人会や趣味サークルを中心とした団体等に介護予防教室、健康体操、レクリエーションの指導を行い、生活の安心と喜び、地域の活力が生み出されるように取り組んでおります。相談に関する手数料やご利用に係る料金は無料です。



お気軽に皆さまの地域の身近なパートナーとしてご活用下さい。

8月の行事予定



今月の作品



7月の中旬、ふる里に新しく出来たホワイトヒルズにセミの幼虫がいました。(写真の左側)セミの姿を見ると、「うあーっ！ 夏ばい！」っと、思います。8月になり暑さも厳しくなりますが、皆様が体調を崩されないことだけを職員一同願っています。右側の写真は、8月10日に行われる「鬼橋町夏祭り」に、ふる里からポップコーンと綿菓子の店を出します。毎年センター長が出店されていましたが、今年は出張で留守なので職員で出します。皆さんのおやつの時間に試作品を食べて頂きました。皆さんに美味しいと沢山の声を頂きましたので、自信を持って頑張りたいと思います。

編集後記 末永 直己